

「伊予遍路道 岩屋寺道」国指定史跡の追加指定について

- 1 区 分 史跡
- 2 名 称 伊予遍路道 「岩屋寺道」
- 3 概要及び評価

第44札所大寶寺（久万高原町）から第45番札所岩屋寺へ順打ちする遍路道岩屋寺道は、歩き遍路の場合約8.4kmあり、今回の指定範囲はそのうち古道の景観が維持されている約4.3kmで、大寶寺から山越えして畑野川に出る約0.6km、畑野川の丘陵地の約1.6kmと岩屋寺近くの約2.0kmで、岩屋寺に尾根伝い根伝いに進む道は八丁坂と通称され、丁石が点在するきれいな道である。



岩屋寺道 十一丁石付近

愛媛県庁本館 登録の概要

- 1 名称 えひめけんちょうほんかん 愛媛県庁本館
- 2 所有者 愛媛県
- 3 所在地 松山市一番町四丁目4番地2
- 4 建設年代等 昭和4年
- 5 登録基準 二、造形の模範となっているもの
- 6 特徴・評価

現役の都道府県庁舎としては3番目に古いものであり、県下において鉄筋コンクリート造の洋風建築の先駆けとなった、造形の模範となる重要な建物である。正面は、当時の庁舎としては珍しい両翼を前面と背面に突出させたH字型平面で構成され、ドーム型の塔屋^{とうや}を有する高い独自性を有している。ホールには大島産の花崗岩と大理石が敷き詰められ、吹き抜けを貫通する柱に円柱を用いるなど、県政の中心の建物としての威厳をもたせながら、柔らかな雰囲気を出す工夫が施されている。また、正庁や貴賓室などは、地元の材料を駆使しながら、高い装飾性を備えている。



正面



ホール



正庁



貴賓室

写真提供：北村徹

西条栄光教会礼拝堂ほか 登録の概要

- 1 名称 さいじょうえいこうきょうかいれいはいどう 西条栄光教会礼拝堂、さいじょうえいこうきょうかいほくしかん 西条栄光教会牧師館、さいじょうえいこうようちえんえんしゃ 西条栄光幼稚園園舎
- 2 所有者 日本基督教団西条栄光教会、学校法人西条栄光教会
- 3 所在地 西条市明屋敷旧陣屋内 236 番地 3、17、18
- 4 建設年代等 昭和 26 年
- 5 登録基準 二、造形の模範となっているもの
- 6 特徴・評価

日本の伝統建築とモダニズム建築が融合した近代建築物。礼拝堂は、真っ白な外壁に縦長の窓がリズムカルに並ぶデザインであり、内部は六角形の柱が並び、天井は木と鉄筋を組み合わせた工法で巧みに支えられている。牧師館は、きりづまかわらぶ切妻瓦葺きの大屋根がのり、しっくいかべ白い漆喰壁と立ち上がる階段が、近代和風デザインとモダニズムの融合を感じさせる。構造的にもしょうけいぼく小径木を活用して合理的であり、簡素で豊かな空間となっている。園舎は、きりづま切妻屋根に大きなガラス窓と白い外壁が際立ち、開放廊下を支える円い柱列がリズムカルであり、木造モダニズムの志向がよく表れている建築物である。



礼拝堂



礼拝堂内部



牧師館



園舎